

## 祖父江町 郷土資料館

郷土の歴史と生活をテーマに、文化財の一部や民具、資料などを展示。昔の庶民の暮らしぶりや文化をわかりやすく紹介しています。

祖父江町大字上牧字下川田454

☎0587-97-2121

開館時間 / AM8:30-PM5:15

休館日 / 土曜日の午前中

受付 / 青少年ホーム内 生涯学習課



### 水屋

度重なる川の氾濫に悩まされた先人たちが生み出した独特の住居。倉庫として利用するほか、洪水や浸水の際の避難場所としても利用されていました。



### 俵壺(横翁よこべ)

古墳時代のもと思われるこの壺は、昭和16年頃、尾西市玉野と祖父江町山崎上屋敷との境界で発掘されました。須恵器には珍しい、俵のようなカタチが大きな特徴です。



### 佐藤牧山碑

佐藤牧山は、享和元年(1801)碑のたつ山崎字下根に誕生。幼少から学問を好み、江戸の官学・昇平校では勤学三傑の一人といわれ、31才で尾張藩儒官、39才で侍講、67才で弘道館総裁となり、明治3年には名古屋明倫堂の校長に就任。当代随一の学者として褒め称えられた、祖父江が誇る文化人のひとりです。



### 深草庵二光翁碑

安政2年(1855)野田に生まれ、尾西地方の名俳諧師として活躍した深草庵二光(加藤仁八郎)。この碑は、当時の彼の活躍を偲ぶかのようにひっそりと佇んでいます。



### 道標

昔の陸上交通に欠かせなかった案内標識。この道標は天保6年(1835)のもので推測され、「右つしま通」「右おこし行」「左つしま行」「左なかの渡、竹はな道」と記されています。



### 佐藤牧山老子講義原本 & 版木

佐藤牧山が「老子」の教えを講義したもので、全6巻の原本と全6巻分127枚の版木が現存。三條実美や伊藤博文らが好んで聴講したという講義をおさめたこの本は、牧山の生涯著書約50巻の中でも名著にあげられます。



### 菩薩座像

円空作の木像。高さ4.8cmと非常に小さい仏像ながら、やや幅広いカタチと両頬の豊富な肉付きからどっしりとした円満な印象を与えます。